

1

PROGRAM

12月15日[水] 19時開演



旅のはじめに ピアノトリオとめぐる旅



M C

狩俣倫太郎
琉球放送 アナウンサー

出 演

葵トリオ

小川響子(ヴァイオリン) | 伊東裕(チェロ) | 秋元孝介(ピアノ)

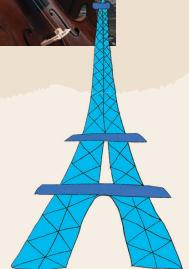
曲 目

モーツアルト、ラヴェル / ピアノ三重奏曲より 他



©Nikolaj Lund

いくつかの国や時代を短い時間でめぐる全8回の音楽の旅の幕開けは、ドイツを拠点に活動する葵トリオがプレゼンターを務めます。海外で活躍する彼らの贅沢な演奏に導かれ、旅が始まります。「旅に出た者が故郷へ帰るとそこはかつての故郷ではなかった。そう感じるのは、実は自分自身が変わっているから」という興味深い考えがドイツにありますが、この4ヶ月の旅がみなさんにとっても変化を感じるきっかけとなるかもしれません。



12月25日[土] 15時開演

くるみ割り人形 クリスマスの定番をコンサートで!

PROGRAM

2



M C

オレンジマン
(和家若造)

エフエム那覇 パーソナリティー



ヨーロッパでは家族で集まってクリスマスを祝い合う習慣があるので、その光景は家族や親戚と温かな時間を過ごす日本のお正月とも重なります。そんな印象に残る心地良さや温かさが「くるみ割り人形」のベースにもあるように感じます。ビューローダンケの企画する舞踏会やオペラ、コンサート企画でコンセプトをともにしてきたダンケチエンバーアンサンブルのメンバーで、温かなクリスマスの雰囲気をお届けします。

PROGRAM

3

1月8日[土] 15時開演(予定)

ピアノを聴こう お友達、家族と一緒に楽しむピアノ



M C

玉城美香
ラジオパーソナリティー

出 演

仲村渠悠子(ピアノ)

曲 目

ショパン / 子犬のワルツ・木枯らしのエチュード
仲村渠悠子作品より



ピアノを習う子どもたちにとって、ショパンという作曲家は耳馴染みのある名前ではないでしょうか。プログラムにある軽快な「子犬のワルツ」は、いつか弾けるようになりたいと憧れる曲かもしれません。ピアノを通して、音楽に触れる楽しさを見つけるきっかけになるような曲をお届けします。今回登場する仲村渠悠子さんは、自分の言葉で直接語りかけるスタイルも魅力のピアニストです。自身の子どもたちに向けて書いた自作曲も披露します。



4

1月29日[土] 16時開演

ミューザ川崎シンフォニーホール&
東京交響楽団
友好都市川崎市とタイアップ!



MC

比嘉雅人
琉球朝日放送

出 演

上間善之(東京交響楽団首席ホルン)
中村楓子(東京交響楽団第1ヴァイオリン) | 遠藤直子(ピアノ)

曲 目

ブラームス / ホルン三重奏曲



ブラームスの作品には、彼が過ごしたドイツやオーストリアの自然が目に浮かぶようなフレーズが多くあります。木々が一斉に芽吹く躍動的な春や、太陽の光がキラキラ輝く夏、深い光を湛える秋、音がなくなるように静まり返る冬など、今回演奏する作品からもそうした季節の移ろいが浮かんでくるようです。年を重ねることで実感できるテンポ感やリズムの運び、音のなかに漂う厚みや滋味深さは人生のさまざまな節目を表しているのかもしれません。那覇市の友好都市、川崎市のホールを拠点とする東京交響楽団から演奏家をお招きしてお届けします。

みんなの クラシック!

音楽家たちと一緒に
旅に出よう。



クラシック音楽が生まれたヨーロッパの文化をしっかり捉え、

自分の生まれた国との違いや共通点をつかみながら、

作曲家たちが浮かべたイメージや思考を音に変えて時代を超えて表現すること。

作品やその解釈を場所に溶け込ませながら、演奏家たちが音を作り上げることを大切にします。

5

2月12日[土] 14時開演

旅する人生 ピアソラ没後30年



出 演

三浦一馬(バンドネオン) | 渡久地圭(フルート)
高良仁美(ピアノ)

曲 目

オールピアソラプログラム



MC

伊藝 梓

エフエム沖縄 アナウンサー

「クラシック」という括りの中でも独自の立ち位置となっている、アルゼンチンの作曲家アストル・ピアソラ。元の音楽であるタンゴにこだわり、さまざまなスタイルで伝えることや、新しいタンゴの姿をつくろうと試み、生まれ故郷を飛び出して旅に出る。旅先で出会った方法から自分を見つめ直し、故郷へ戻って新たなスタイルをみ出した人生こそまさに旅とも言える。

PROGRAM

6



2月27日[日] 15時開演(予定)

M Strings 若い音楽家たちのエネルギー

出 演

M Strings × 島田真千子

大城聖美・島田優香・佐喜眞三千花・島田聖生(ヴァイオリン)
粟國朝陽・伊佐泰一(ヴィオラ) | 上地趣・我那霸都(チェロ)
ゲスト:島田真千子(ヴァイオリン)

曲 目

メンデルスゾーン / 弦楽八重奏曲より
チャイコフスキイ / 弦楽セレナーデより 他

MC

池間昌人
NHK沖縄放送局
アナウンサー

これからを生きる若い世代が希望を感じられる未来にすることが、私たち大人の大きな仕事のひとつだと思います。他文化圏の芸術に取り組むということは、自ずと総合的に歴史や思想、思考法なども自分のなかに取り入れていかなければなりません。それを本質的に自分のものにするためには、生まれ育った国の文化や歴史について知り、比較対象していく必要があります。そういうことに気づき、取り組める環境を準備していきたいです。

PROGRAM

7

3月12日[土] 16時開演

琉球交響楽団

定期演奏会を2倍楽しむ!



MC

沖縄テレビアナウンサー

出 演 琉球交響楽団メンバー

曲 目 第41回定演プログラム 特別ダイジェスト版



オーケストラは大勢の奏者で演奏しますが、その編成を小さくして各楽器の音色を聞き分けてみたり、各奏者の表現に注目するとよりおもしろくなるかもしれません。また、定期演奏会のプログラムと関連した作品を聞くことによって、作曲家それぞれのくせや雰囲気を感じたりイメージが浮かんだりと新たな発見も感じられることでしょう。

PROGRAM

8

3月27日[日] 15時開演(予定)

クラシックで沖縄メロディー 沖縄音楽作品集



出 演

ダンケチェンバーアンサンブル

金城由希子・田場尚子(ヴァイオリン) | 新垣伊津子(ヴィオラ)
上原玲未(チェロ) | 照屋恵悟(ピアノ) | 棚原健太(歌三線)

曲 目

鶴見幸代 / 四つ竹 他
北崎幹大 / ていんさぐぬ花 他

MC

仲村美涼
琉球放送 アナウンサー

旅に出て故郷や元の場所へ戻ってくると、これまでの世界が違って見えることがあります。その感覚は、その旅で自分が得たものに基づいているのではないかでしょうか。沖縄のメロディーをクラシックで表現することで、異文化を通して沖縄の文化を見つめ直すきっかけとなり、もしかすると私たちの本質に気づくことになるかもしれません。



